

伊賀市国民健康保険

国民健康保険は、被保険者の皆さんが病気やケガをしたとき、安心して医療を受けることができる制度です。



平成21年5月末現在、市内で14,309世帯、25,283人の方が国民健康保険に加入されています。

8月は国民健康保険税の本算定の月です。8月中旬に世帯主（納税義務者）の方に保険税納税通知書を送付します。納期内納付にご協力ください。

わが国では、すべての人が何らかの医療保険に加入することになっています。長寿医療制度（後期高齢者医療）に加入している人、生活保護を受けている人、職場の健康保険に加入している人などを除いて、すべての人が加入するのが、国民健康保険です。皆さんの納めていただく保険税と国などからの補助金を財源にして、医療費・高額療養費・出産育児一時金などの保険給付の支払い、後期高齢者支援金などの各種拠出金の支払い、特定健診・簡易人間ドック・脳ドックなどの保健事業を行い、皆さんの健康を支えています。

近年、急速な高齢化や生活習慣病の増加、高度医療技術の進歩などにより医療費は年々増加しています。

市ではより効率的な運営に努めてまいりますので、皆さんも健康に心がけ、医療費を有効に使われますようお願いいたします。

本算定の納税通知書をお届けします

世帯主が国保に加入していても、世帯の中に国保加入者がいれば納税通知書が世帯主の方あてに届きます。

今回お届けする納税通知書の税額は、次ページの税率等①により計算した本算定年税額から

① 普通徴収の方 1期（4月）・2期（5月）の仮算定税額を差し引いた額を、3期（8月）から10期（22年3月）の8期（回）に割り振っています

② 特別徴収の方 4月・6月・8月の仮算定税額を差し引いた額を10月・12月・22年2月の3回に割り振っています

この年税額の具体的な計算例は、次ページのとおりです。

特別徴収（年金からの天引き）を口座振替に変更できます

法改正により、国保に加入している方全員（世帯主を含む）が65歳以上で一定の条件を満たされている場合は、保険税を年金から天引きとすることができますが、申請により口座振替に変更することができます。

● 申請の期限はありませんが、申請の時期により口座振替への変更時期が変わります

● 年金天引きを継続される場合は、改めて申請していただく必要はありません

● 口座振替に変更された場合、所得税に関する社会保険料控除は口座振替により支払った人に適用されます。年金天引きの方は、ご本人に社会保険料控除が適用されます

保険税の減額制度（均等割・平均割を減額）

前年の世帯合計所得が下記の金額以下	減額割合
33万円	7割
33万円+（世帯主を除く加入者数×24万5千円）	5割
33万円+（世帯主を含む加入者数×35万円）	2割

※加入者数には後期高齢者医療に移行した人を含めて算出
（世帯に異動がある場合を除く）

保険税は被保険者になった月から

保険税は、被保険者になった月から納めていただくこととなります。被保険者になった月とは、市で届出をしたときでなく、他市町村から転入された日、あるいは職場の健康保険を脱退された日など、市国保加入の資格が発生したときを指します。届出が遅れますと保険給付を受けられない場合があります。保険税は国保資格の発生日までさかのぼって納めていただくこととなります。

また、他市町村へ転出、職場の健康保険に加入されたなど（伊賀市国民健康保険の資格の喪失）の場合は、その月分からの保険税は課税されませんが、届出が必要です。 (単位:円)

国民健康保険の届出は必ず14日以内に！



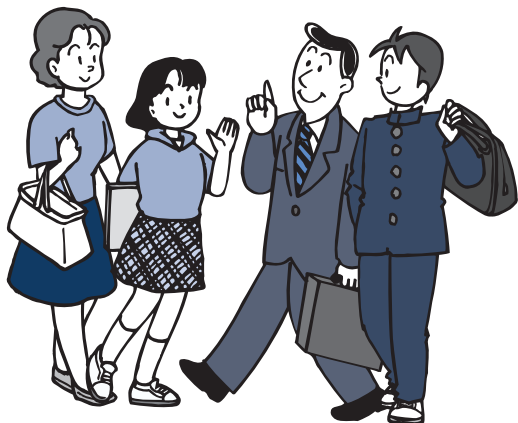
税率等①	所得割 ※1	資産割 ※2	均等割 ※3	平等割 ※4	限度額
医療給付費分	6.7%	18%	25,000	22,000	47万
介護納付金分	1.5%	3%	7,500	4,500	9万
後期高齢者支援金分	1.08%	4.2%	5,800	4,500	12万

- ※1 所得割 前年中の総所得金額から基礎控除額（33万円）を差し引いた額に対して
- ※2 資産割 その年の土地家屋にかかる固定資産税に対して
- ※3 均等割 国保に加入している方1人に対して
- ※4 平等割 1世帯に対して

国民健康保険税

医療給付費分
介護納付金分
後期高齢者支援金

計算例



■医療給付費分の税額の計算例

◎4人が国民健康保険に加入

	総所得	基礎控除額	
	2,000,000円	330,000円	= 1,670,000円
所得割額	1,670,000円	× 6.7/100	= 111,890円
資産割額	50,000円	× 18/100	= 9,000円
均等割額	25,000円	× 4人	= 100,000円
平等割額	22,000円	× 1世帯	= 22,000円
医療給付費分年税額（100円未満切捨て）			242,800円

■介護納付金分の税額の計算例

◎2人が介護保険に加入（40歳以上65歳未満）

所得割額	1,670,000円	× 1.5/100	= 25,050円
資産割額	50,000円	× 3/100	= 1,500円
均等割額	7,500円	× 2人	= 15,000円
平等割額	4,500円	× 1世帯	= 4,500円
介護納付金分年税額（100円未満切捨て）			46,000円

- 世帯主（47歳） 給与所得 200万円
固定資産税 5万円
- 妻（46歳） 無職
- 子（18歳） 学生
- 子（15歳） 学生

■後期高齢者支援金分の税額の計算例

所得割額	1,670,000円	× 1.08/100	= 18,036円
資産割額	50,000円	× 4.2/100	= 2,100円
均等割額	5,800円	× 4人	= 23,200円
平等割額	4,500円	× 1世帯	= 4,500円
後期高齢者支援金分年税額（100円未満切捨て）			47,800円

上記の加入世帯の国民健康保険税は、医療給付費分・介護納付金分・後期高齢者支援金分の合計額 **242,800円 + 46,000円 + 47,800円 = 336,600円**となります。